

知れば知るほどハワイはもっと楽しい ~文化や歴史を学んで「ハワイ通」になろう!

アロハプログラム ニュースレター

Ka Leo Aloha the voice of aloha

HAWAII TOURISM
JAPAN
ハワイ州観光局

Hawaii Tourism Japan
Aloha Program Newsletter

Vol.5 2020
January



www.aloha-program.com



美しいハワイを守るために考えたい 「レスポンシブル・ ツーリズム」とは

ハワイは世界中から旅行者が訪れる素晴らしい場所。だからこそ、このハワイの島々の自然や文化を守り、未来へつなげていくことの重要さが求められています。もちろん、地元住民の人々との関係も重要……。 「レスポンシブル・ツーリズム」について考えてみましょう。



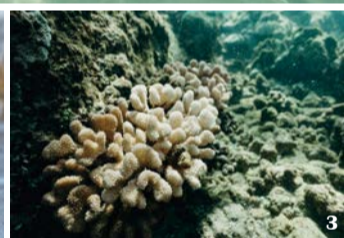
全盛時の10分の1以下の規模になっていると言われるハワイ固有種「コアの木」。アロハプログラムではその再生プロジェクトにも協力している。



1



2



3



4

ウミガメ (1)、ハワイアンモンクシール (2)、イルカ (4) などの海洋生物は、州法と連邦法のもとで保護され、触れたり餌を与えることは禁止。美しいサンゴ (3) も白色化が進むなど様々なダメージが報告され、問題となっている。

他に類を見ない素晴らしい自然や文化を誇るハワイ。世界中からの旅行者を魅了する、特別な場所です。その限りある資源を守ろうという意識は地元で、そして旅行者の間でも年々高まり、エコヤリサイクル活動への取り組みが活発になっています。

たとえば、法律によりショッピングの際の「レジ袋」は有料 (15セント以上) に。また、レストランやカフェでも、プラスチックだったストローを紙ストローに変えたり、テイクアウト用の容器を生分解性容器に変える店舗が増えています。水筒用のウォーターサーバーが設置されたホテルも多く、ペットボトルごみの減少に注力しています。再利用できるビーワックス (蜜蝋) を使ったフードラップなども多く見られるように。また、サンゴ礁に害を与える成分を使用した日焼け

止めの販売を禁止するサンスクリーン法も、2021年1月1日よりアメリカで初めて実施されます。

これらの活動は、ハワイの自然環境や生息する動植物の生態系保護にも繋がります。太平洋の真ん中に位置する自然豊かなハワイには、海の守り神とも言われる「海ガメ (ホヌ)」や、ハワイ固有種である「ハワイアン・モンクシール」をはじめ、様々な野生動物たちが生息しています。彼らのホームである広大な海や砂浜、森や山を守るために、旅行者ができることを考える。それも「レスポンシブル・ツーリズム」の第一歩と言えます。

たとえば海や山で野生動物に出会ったら、決められた距離を保って静かに見守り、触れたり餌を与えたりしない。トレッキングでは外来種を持ち込まないよう靴を洗ったり、

トレイル以外の場所に立ち入らないのも大切です。「ハワイの山に固有種のコアの木を植樹する」といったプロジェクトや、ボランティア団体が行うビーチクリーニングに参加するのもいいし、もちろん、普段の生活でエコバッグや水筒を持ち歩くだけでも、自然保護に参加できます。

また、ハワイ特有の文化を理解することも重要。特別な島々を昔から守ってきた先人の想いをリスペクトしながら旅することは、今ハワイに住む地元の人々の生活を尊重することにも繋がります。私有地に無断で立ち入らない、住民が大切にしているヘイアウ (重要な宗教儀式などが行われてきた場所) を訪れる際には敬意を払う、などに注意してハワイでの時間を楽しみたいものです。

「レスポンシブル・ツーリズム」と言葉にすると少し難しいかもしれませんが、大好きなハワイを末永く美しく豊かに残すために、そして地元の人たちとのバランスを保つために。いま私たち一人ひとりができることを、少しでも考えてみませんか。



5



6



7

5.ハワイの固有種オヒアレファの花は、摘んだり島から持ち出さないように。6.古代ハワイアンの知恵、養魚池の復興を目指すボランティアも盛ん。7.神聖な「ヘイアウ」を訪れる際には敬意を払って。

今すぐ取り入れたい 環境を守る優秀アイテム

お洒落で使えるエコバッグ

スーパーマーケットはもちろん、アパレルや雑貨店などでもレジ袋が有料のハワイ。常にエコバッグを持ち歩く行動は、環境保護への第一歩にも!



サンゴ礁を守る 日焼け止め

サンゴ礁などを守るため、ハワイ州では2021年1月より、オキシベンゾンとオクチノキサートを含む日焼け止めの販売が禁止に。有害物質を含まない日焼け止めを使用し、ハワイの自然を守りましょう。



紙や竹製のストロー

プラスチック製の代わりに自然に優しい素材のストローを使う飲食店も増えています。

レスポンシブル・
ツーリズムの詳細はこちら



アロハインタビュー ハワイの人に聞く

ハワイ島「フォーシーズンズリゾート・フアラライ」のカルチャーセンター・マネージャーである“アール・アール”。この地に暮らした先祖の想いや大切な文化を現代に伝える、様々なプログラムについてお聞きしました。

Earl Kamakaona Mahuna Kaho'okaimoku Regidor アール・カマカオナオナ・マフナ・カホオカイモク・レジドール

ハワイ島ハマクア、パアウイロ出身。12人兄弟の末っ子として生まれる。「音楽がない生活は考えられない」と言う程、常に音楽がある環境で育つ。1996年、フォーシーズンズリゾート・フアラライのホスピタリティーアンバサダーとしてカウプレフカルチャーセンターに勤務。2006年には、同センターのマネージャーとして就任。アンバサダーとして彼自身の人生経験やハワイ文化に対する強い想いと共にハワイ島、そしてフアラライの貴重な価値や文化を伝えている。

ハワイ島で感じてほしい ここに息づく先祖たちの魂を

真っ青な空、白砂のビーチ、そして漆黒の溶岩台地が織りなす美しいリゾート、フォーシーズンズリゾート・フアラライは、ハワイ島コナの北側に位置します。ここはカウプレフというアフアア（ハワイ古代の土地区画）だったエリアで、昔は小さな漁村でした。この地には私たちの先祖の魂が、今でも深く息づいています。

私がマネージャーを勤めている、当リゾートの「カウプレフ・カルチャーセンター」では、リゾートを訪れる方々のためにゲスト参加型のプログラムや資料、展示品を多数用意しています。ハワイの環境や文化、歴史、伝統、美術工芸品について学ぶことができ、ホテルゲストなら参加無

料（一部有料のプログラムも有）。ぜひ、気軽に挑戦してほしいですね。たとえばフラワーレイメイキングのワークショップ。ひとつひとつ生花をつなげて作るレイは、限らない愛を意味します。とても特別な、ハワイのアロハの象徴をご自分の手で作ってみてください。また、開放的な芝生で行われるフラのレッスンも素晴らしい体験です。古代ハワイには文字は存在しなかったため、歴史の中で長老や先祖の物語やメッセージは「フラ」を通して伝えられてきたと言えます。フラの動きやその意味を学び、実際に体験することで、このハワイの大切な文化に思いを馳せてもらいたいのです。月曜日と木曜日には、7歳



ハワイの地に古くから息づく自然や文化、音楽など全てに感謝し、それを多くのゲストに伝えるアンバサダー。アールさんの笑顔はアロハに満ちている。

以上のお子様を対象に「ケイキ（子供）」のためのフラレッスンも開催しています。その他、ウクレレやハワイ語のレッスン、貝殻を使ったプレスレット作り、ハワイアンキルトなどのワークショップも用意しています。さらに、塩づくりの歴史や古代の製法が学べるアクティビティや、コーヒー農園ツアーなど、ハワイ島ならではの特別なプログラムも行っているんですよ。古代からここで生活し続けてきた人々の優しさや美しさが、すべてこの地に表れています。日本の皆さん、広大なハワイ島を訪れハワイについて学んでください。多くの方に「アロハ」の心を伝えること。私にとって、これほど嬉しいことはないのです。



リゾート内で毎日開催される様々なクラスや展示会は、「マクア トゥ マカイ」（山から海へ）がテーマ。伝統文化に触れる貴重な時間を。

アールさんのインタビュー動画はこちら

今、知っておくべきこと ハワイを守る人々

世界中で問題となっている、多くのプラスチックゴミ。野生動物や美しいハワイのビーチを守り、未来へ残していくために積極的に取り組んでいる非営利団体をご紹介します。

ビーチクリーンアップや教育で ハワイの海を未来へつなぐ

現在、世界中で大きな課題となっているプラスチックゴミ問題。美しいハワイの海やビーチも、例外ではありません。とくに北太平洋環流という海の流れによって世界中から流れてくるゴミが、ハワイ諸島へと流れ着き、ハワイの自然や海洋生物に多大な影響を与えているのです。信じられない量のゴミが、海岸に漂着。波にもまれ、海水や紫外線の影響で粉砕され劣化し、小さなマイクロプラスチックと呼ばれる状態になったゴミは、拾う事自体とても困難で、拾ってもまた流れ着くプラスチックゴミ排



世界中からの漂流物やゴミがハワイの海岸に流れ着く現実を伝える勉強会なども行っている。

除は終わりの無い作業になっています。「サステイナブル・コーストラインズ・ハワイ」は、この問題に向き合うNPO団体。もともとニュージーランドにその本部があり、その動きに触発されたハワイの若者たち8人が2010年にスタートしたものです。まずは、自分たちが住むハワイの海岸にあるゴミを拾う「ビーチクリーンアップ」活動からはじめ、そこからごみ問題に関わる教育活動へと拡大。さらに様々なメディア、ソーシャルメディアなどを通じて、ゴミを減らすことやビーチ保全の必要性を人々に広めています。現在では多くのボランティアとともに、オアフ島の北東海岸をはじめ、ハワイ各島でのビーチクリーンアップ活動を定期的に行ったり、学校や企業でのワークショップや勉強会をしたり、様々な活動をしています。「落ちていたゴミを拾うことはもちろん必要だけれど、いくら拾ってもきりがな。ゴミが生まれる元を減らすこと、プラ



旅行者も参加可能なビーチクリーンアップは随時開催。ハワイの海を自分たちの手できれいに!

スチックの使用自体を減らす動きをしていくことが大切なんだ。ビーチクリーンアップは海へ行かなくてもできるんだよ」と彼らは言います。私たちひとりひとりが、日常生活でエコバッグやステンレスストローを持ち歩くようにしたり、リサイクルに敏感になったりすることが、美しい海やビーチの保全につながるということですね。彼らが行うビーチクリーンアップには、もちろん旅行者も参加可能。スケジュールなどはウェブサイトで確認できます。実際にハワイの海に起きていることを見て、行動することで、きっと大きな発見があるはず。美しいハワイの自然を未来へと残すために、できることから一歩ずつ。それが、「サステイナブル・コーストラインズ・ハワイ」の思いです。

サステイナブル・コーストラインズ・ハワイの詳細はこちら

サステイナブル・コーストラインズ・ハワイ
Sustainable Coastlines Hawaii

E-mail / info@sustainablecoastlineshawaii.org
URL / www.sustainablecoastlineshawaii.org/
【日本語フェイスブック】
www.facebook.com/schjp/

知れば知るほど楽しい

ハワイのカルチャー

「アフプアア」とは、古代ハワイの人々が共同生活を営んでいた、一つの地域や土地区画を指す言葉です。欧米人来島前のハワイアンを知るキーワードの一つでもあります。

ネイティブハワイアンの共同生活地域 アフプアア (ahupua'a)



キュレーター
浅沼 正和 Masakazu Asanuma

ハワイ在住通算27年目。Bishop Museum Association Councilのメンバーであり、ハワイ日米協会理事やハワイ日本文化センターのBoard of Governor等務めている。

ハワイ島北東部ワイピオの谷。典型的なアフプアアの風景が広がっています。アフプアアは、ハワイアンの人々が共同生活を営んでいた地域を指す言葉で、山の頂から海辺に達する地域全体を、そう呼びました。山から流れる清水を集めた川が土地を潤し、水田にはカロ(タロ芋)が植えられ、その周辺にはバナナがたわわに実っています。海辺では蛸や海老、小魚海藻などを獲り、川の水と海水が混ざり合う浅瀬に養魚池を造り、漁師はサンゴ礁の外へアウトリガカヌーで漕ぎ出し、大きな魚を獲ります。それらの山の幸と海の幸を分け合い、その地域の人々の生活が営まれる体系が構築されていました。

ハワイ島には150以上、オアフ島には80~90ものアフプアアがあったことが知られています。

現在、オアフ島の幹線道路には、アフプアアの境界線を示す標識が立てられています。アラモアナ大通りとピイコイ通りが接するあたりの表示板が、最も目につきやすいでしょう。コオラウ山脈の北東側、クアロア牧場あたりの曲がりくねった道には頻繁にこの標識が見られます。

アフは祭壇、プアアは豚を意味し、昔はそれぞれの境界に石を積み上げた祭壇を作り、その上に豚の頭をかたどった像を置いたそうで、現在立てられている標識にもそれが描かれています。



1.ハワイ島北東部ワイピオの谷の風景 2.オアフ島クアロア牧場に見るアフプアアの風景 3.クアロア牧場内に残るアフプアア境界の石組み 4.オアフ島幹線道路に立てられているアフプアア境界の標識

アフプアアの
コラムはこちら



「知りたいハワイ」が満載！ アロハプログラム・ キュレーターコラム

アロハプログラムには、ハワイの奥深い歴史や文化、ハワイ語などについて、ハワイの専門家がわかりやすく解説するコラムも満載です。知るほどに面白い、ハワイのトリビアもぜひチェックを！



ハワイを感じて楽しめる 話題のイベント

2020年1月⇨3月

ハワイの伝統を体感できたり、日本とハワイの文化交流を楽しめたり…。ハワイ各島で開催される多彩なイベントをご紹介します。

この他の
イベント情報は
こちら



PICK UP!



目の前で躍動的に描かれる カカアコの新ウォールアートを チェックしに行こう！

話題のカカアコで、ハワイをはじめ世界から集まるアーティストたちが1年に1度、建物の大きな壁に一緒にウォールアートを描くコンテンポラリーアートの一大イベント。「ホノルルナイトマーケット」等のイベントも開催される。

POW! WOW! HAWAII

📅2月上旬
📍オアフ島 カカアコ
🌐www.powwowworldwide.com/festivals/hawaii

ソニーオープンインハワイ



毎年カハラで開催される華やかな全米プロゴルフツアー。ハワイ最大のチャリティイベントでもあり、日本からの選手も複数出場する。

📅1月6日(月)~12日(日)
📍オアフ島 ワイアラエカントリークラブ
🌐www.sonyopeninhawaii.com/

マウイ・オーシャンフロント・マラソン



コースのほぼ90%がオーシャンフロントという贅沢なマラソン。開催は1月で、ハワイ沖へ訪れるクジラが見えるシーズンでもある。

📅1月19日(日)
📍マウイ島
🌐www.mauioceanfrontmarathon.com/

マウイ・ホエール・フェスティバル



マウイ島のクジラシーズンに行われる、海洋保全やクジラをテーマにしたイベント。パレードやミニマラソンなどもある。

📅2月1日(土)~29日(土)
📍マウイ島
🌐www.mauiwhalefestival.org/

ワイメア チェリーブロッサム ヘリテージ フェスティバル



ハワイ島ワイメアで行われる桜まつりで日本とハワイの文化が楽しめる。ロココにも大人気。餅つきなどのデモンストレーションもある。

📅2月1日(土) 📍ハワイ島 ワイメア
🌐www.facebook.com/Waimea-Cherry-Blossom-Heritage-Festival-195555713803758/

ワイメアタウン セレブレーション



カウアイ島ワイメアの町を挙げたチャリティイベントで、フィルムフェスティバル、カルチャーイベントなど様々な催しが実施される。

📅2月15日(土)~23日(日)
📍カウアイ島 ワイメア
🌐www.waimeatowncelebration.com/

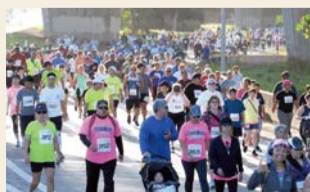
ウクレレ・ピクニック・ イン・ハワイ



ハワイはもちろん日本、アジア各地などからウクレレプレイヤーが集結。ピクトリア・ワード公園でウクレレ三昧の一日を！入場無料。

📅2月16日(日)
📍オアフ島 ピクトリア・ワードパーク
🌐www.ukulelepiknicinhawaii.org

グレート・アロハ・ラン



アロハタワーからアロハスタジアムまでの約13キロをラン、ジョギング、ウォーキングで楽しみながら参加できる人気イベント。

📅2月17日(月)
📍オアフ島
🌐www.greataloharun.com/

カウアイ スティールギター フェスティバル



ハワイの伝統的なスティールギターのマスターたちによる演奏をカウアイ島で堪能できるイベント。ワークショップなども行われる。

📅2月28日(金)~29日(土)
📍カウアイ島
🌐www.kauaisteelguitarfestival.com/

第26回ホノルルフェスティバル



ハワイと日本、環太平洋の文化交流を目的に毎年3月に開催される。日本からも多くの参加者が集まり最終日のパレードや花火は必見！

📅3月6日(金)~3月8日(日)
📍オアフ島
🌐www.honolulufestival.com/ja/

コナ・ブリュワーズ・ フェスティバル



ハワイ島で毎年開催されるビールの祭典。ハワイやアメリカ本土から集結したビール醸造所による約70種類以上のビールが楽しめる。

📅3月14日(土)
📍ハワイ島 カイルア・コナ
🌐konabrewersfestival.com

古代ポリネシアの 伝統航海カヌー「ホクレア号」 ドキュメンタリー映画上映

2019年6月、日本にて字幕版の初上映を福岡にて開催し好評だった「ホクレア号」のドキュメンタリー映画を、2020年は10都市で開催！乗船クルーによるトークショーも、合わせて実施予定です。



古代ポリネシアの伝統航海術を使って世界中を航海するカヌー、「ホクレア号」。航海士たちは、星や波、風、鳥などの動きを観察しながら伝統的な航海技法を使って太平洋を航海しています。

太平洋地域の人々はその昔、このような手法を習得し太平洋を航海、探検していたと言われています。「ホクレア号」は、600年以上前に失われつつあった伝統的な航海技術や知識を研究し、その技法を証明することで、伝統的な航海術を再現することに成功しました。

2014年から3年間にわたり、約75,639kmの大海原を駆け巡る世界航海を行ったホクレア号。この航海を通じて、次世代に受け継ぐべき大切な地球を守る努力を啓蒙すると同時に、伝統と技術の融合の大切さを伝



え、より多くの人々に我々の価値感や教訓を分かち合い、持続力のあるより住みやすい地球にしたいと思う人々が増えることを望んでいます。

航海に帯同した、ハワイ現地の'Oiwiテレビが、ホクレア号の航海術やその背景のストーリーをフィルムに収めた貴重なドキュメンタリー映画が、「Moananuiākea one ocean one people one canoe ~ 地球をアロハのレイでつないだカヌー、ホクレア号の世界一周大航海」。この映画は、ホクレア号の航海に実際に携わったナアレフ・アンソニー氏、ブライソン・ホエ氏、マ

ウイ・タウオタハ氏によって制作され、「アロハプログラム」の社会貢献プロジェクトとしてハワイ州観光局がサポートしているNPO団体、ポリネシアン・ボヤージング・ソサイエティ (PVS) と'Oiwiテレビ協力のもと、実体験をご紹介します。

2020年は、日本全国の10都市にて上映会を開催決定！ぜひ、ホクレア号の伝統航海術について知り、ハワイが守り続けてきた文化や歴史を学んでみませんか？乗船クルーによるトークショーも合わせて実施予定です。詳細は、決まり次第お知らせいたします。

第4回アロハプログラム Week in ハワイ 2020

2020年3月2日(月)～3月7日(土) 「オアフ島」で開催決定!!

2017年からスタートした「アロハプログラム Week in ハワイ」。ハワイ州観光局とアロハプログラムキュレーターが自信を持ってご紹介するディープなハワイツアーは、他では味わうことができないスペシャルな体験の連続です。

ハワイが大好きな会員同士が現地で繋がる、アロハプログラムだけの特別なツアー。現地集合、現地解散なので、ご自身のスケジュールに合わせて参加が可能です。まだ知らない「新しく深いハワイ」を、一緒に体験してみませんか？



知識豊富なキュレーターの説明を聞いて各所を巡ったり、様々なワークショップを行ったり。奥深いハワイを体験できる。

【ツアー開催期間】
2020年3月2日(月)～3月7日(土)
【開催地】オアフ島

※詳細はウェブサイトにてご確認ください。

「アロハプログラム Week in ハワイ 2020」の詳細はこちら



FROM ハワイ州観光局

ハワイの歴史・文化を知る オアフ島・ハワイ島の ヒストリックガイド

ハワイ州観光局では、ハワイの歴史・文化をより深く正しく知っていただくために「ハワイヒストリックガイド」を作成いたしました。オアフ島のワイキキとダウンタウン編に続き、ハワイ島版も2冊が完成。ハワイにご旅行される際はもちろん、日本にいてもハワイの知られざる歴史や文化を学べるガイドブックとなっています。



Ebookでもご覧になれます



アロハプログラムに会員登録して ハイスペシャリスト検定に挑戦しよう!

無料

ハワイのこと、深く知れば知るほどもっと楽しくなるはず。
大好きなハワイのあれこれ、ちょっと勉強してみませんか？

アロハプログラムとは

「アロハプログラム」とは、ハワイ州観光局が運営する「ラーニングサイト」で、ハワイの歴史、文化、自然などハワイを楽しく学べるプログラムです。専門家による監修のもと、文化や歴史など、幅広くハワイに関する情報を提供しています。

会員登録で受けられる ハイスペシャリスト検定

アロハプログラム会員になると受けられるのが「ハイスペシャリスト検定」。初級～上級まで用意された、ハワイ州観光局公式のオリジナル検定試験です。ハワイの文化や歴史など今まで知らなかったハワイを学べます。

中級以上で さまざまな会員特典が!

中級以上を取得するとハワイ旅行中の様々な特典や、日本でのハワイイベントへのご招待も。ほかに会員限定キャンペーンやワークショップ、限定のハワイツアーに参加できるチャンスもあります!



ハワイ州観光局
日本支局長
ミツエ・ヴァーレイ



アロハプログラムニュースレターは、
ハワイ州観光局認定サテライト
グループに設置されています。

Webの閲覧はこちらから

